

## 2007,8 月 15 日 終戦記念日

-2007.8.21-

---

今年の夏は暑い日が続いている。昭和 20 年 8 月 15 日もこんな暑い日だっただろうか。

今日は終戦記念日である。昼のテレビで東京九段の日本武道館で全国戦没者追悼式典が開催されていた。今年も、ステージ中央には木曾檜の戦没者慰霊碑が立っている。黙禱をしながら、二度と過ちを繰り返してはいけない社会を創るために自分が最大限の努力をする事を自分自身に言い聞かせた。

先の大戦で軍人、軍属、一般人、日本人だけでも 310 万人の尊い命が失われた。開戦が昭和 16 年の 12 月 8 日で、終戦が昭和 20 年 8 月 15 日であったが、実に 3 年 8 ヶ月の間に日本、中国、台湾、韓国、米国等多くの国の人々が亡くなった。もう二度とこんな悲惨な悲劇を繰り返すわけにはいかない。

さて、テレビ報道では阿部首相を始め、閣僚は今年は靖国神社の参拝を自粛したと言う。午後、高市氏が参拝したと報道された。私は首相が参院選の惨敗の結果を配慮して参拝を自粛したと述べている報道機関があったが、もし仮にそれが事実とすれば、選挙に勝てば阿部さんは参拝したのだろうか。そんなに軽い問題なのか、靖国神社の問題は阿部首相にとっても大きな問題であるはずである。阿部首相は「美しい国日本」を目指すと言いながら、基本的な重要な問題をここでも避けて通っている。参拝する、しないと述べる前にまず靖国問題に決着をつけて欲しい。

今日は成人式があった地域が多い。二十歳の若者が、自分の将来や今後の社会を考えると、不安を抱くことなく将来を見据えることができるだろうか。今、この国に欠けているところは何だろうか。例えば信用できない年金システムを根本的に見直すとか、この国の若者にとって将来を展望

できる社会を築き上げることが今求められている。私も県議として 21 世紀の主役である若者にとって魅力ある社会を作るために大いに努力していきたい。